

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 i

始



特277

909

特277-909



河合榮治郎教授講述

獨逸社會民主黨史論

昭和十二年度東大講義

〔册分二第〕

了

版會行刊トンプ京東





目次

第一章	第二章	第三章	第四章	第五章	第六章	第七章	第八章	第九章	第十章	第十一章	第十二章	第十三章
緒論	革命ヨリ現在ニ至ル状勢	世界大戦	修正主義論争	社会主義	社会主義	社会主義	社会主義	社会主義	社会主義	社会主義	社会主義	社会主義



一六〇  
一五三  
一二九





第八章 社會黨鎮壓法トエルフルト綱領

(註) 社會黨鎮壓法ニハニツノ言葉ガアル。

*Sozialisten Gesetz* 社會主義者法

*Ausnahme Gesetz* 例外法 デアル。

制定ノ経過

從來モビスマルクハラッサール、アイゼナツハノ兩派ヲ鎮壓シテ未ダノデアルガ、コノ社會黨鎮壓法ハ、傳統ノクライマックスニ來タノデアル。一八七一年 *Paris Commune* ニ於テコンミュニントブルジョアトノ對立ヲ巴里郊外ニサシテ、同輩ノシテ國民ノ對立ノ外ニ階級ノ對立ガアルト云フ事ヲ知り、新興プロレタリアニ對シテビスマルクガ恐怖ノ念ヲ懷イタト云フ事ハ否定スレ事ハ出來ナイ。パリコンミュニオンニ關シテハマルクスノ *Bürgerkrieg in Frankreich* ヲ讀メバコノ叛亂ノ社會的階級的性頗ヲ了解スル事ガ出來ヨウ。時ニアイゼナツハ派ノベ



ベルトリリアクネヒトガ反戦闘争ノタメ起訴サレタ。法廷テ煽動演説ヲ  
シタ。之ガ被ビスマルクヲシテ独逸ノ中ニ独逸ヲ裏切ル者アルヲ感セシ  
メタノデアアル。ゴータ合同後党ガ膨脹シタ事モソノ理由ノ一チナスモノ  
デアラウ。

以上ノ事實ニ基キ *Bismarck* ハ國際的ニ社會主義者ヲ鎮壓セントンス  
パインニ交渉シタガ拒否サレタ。英國モ拒絶シタ。

一八八七年一人ノ暴漢ガウイヘルム一世ヲ狙撃シタ。之ハ民衆ノ間  
ニ非常ナセンセイシヨシテ起シタ事件デアアル。併シ未ダ議會ハコノ悪法  
ニ賛成シナカツタ。スルトモウ一度狙撃事件ガアツタ。一八七八年一〇  
月ノ議會デ之モソノ罪ナリトシテ通過シタ。

自由主義政党ハビスマルクニ他ノ事デツラレタ。党ノ機關紙五〇〇ノ  
中発行ヲ許サレタモノ僅カニ五八。禁錮延年數八三一年間ニノボル。

ス. *Kautsky* ハコノ時追放サレ。スイスニ逃ゲタ。E. *Bornstein* ハ旅行  
中ダツタ。マルキシズムノ祖述者ハコノデ許ラズモ會ツタ。

皇帝トビスマルクハカクノ如キ彈壓ヲスルト共ニ膨大ナル社會保險ヲ  
起シ労働者ヲ政府ニ引キツケントシタ。党ハコノ立法ノ下ニ二十年間隠  
忍シ闘争シタ。氷ノ様ニ静カニ持チコタヘタ。官憲ノ目ヲカスメテスエ  
ーデン。ノールウエー。デンマルク。スイス等ノ各都市デ大會ヲ開イタ。  
ゴータ綱領中ニアル「凡ユル合法的手段ニ依リ」ト云フ一語ヲ排除シタ。  
丁度一八九〇年ウイヘルム大帝ガ死シタ。更ニ皇太子ガ死シタ。孫ウ  
イルヘルム二世位ニ即ク。年少氣銳ノ皇帝ハ自分ノ部下ニ取り圍マレテ  
*Bismarck* ヲ排除セントシタ。 *Bismarck* ハ三十年總理大臣ヲ續ケタガ  
遂ニウイヘルム二世ノ用フルトコロトナラズ退位ノ止ムナキニ至ツタ。  
一八九〇年二月四日 *Kaiserliche Erlasse* ヲ出シ社會黨鎮壓法ヲ廢  
止シ社會政策ヲヤツタ。党ハ九〇年一月一二日 *Halle* デ始メテ國內ノ  
大會ヲ開イタ。國外ノ領袖幹部ガ會ツタ。非常ニ *sentimental* ナ *ato-*  
*masphere* ガ支配シタト云ハレル。而シテ名稱ヲ独逸社會民主黨ト名ヅ  
ケタ。ゴータ綱領ヲ排シ起革命委員ヲ擧ゲタ。エアフルト綱領ガ主トシテ



カウツキーノ手ニナツタ。

扱テコトデ十二年間ノ彈壓ノ影響ヲ見ヨウ。

良イ方ノ影響ヲ擧ゲレバ第一ハ封建主義ト完全ニ絶縁シタ事デアアル  
第二ハラツサル派トアイゼナツハ派ノ合同ヲ完全ナモノトシタ。大ニ  
恐怖心ガ党ヲ支配シタ。敵ヲシテ恐怖セシメル様ナ最左翼ノ分子ヲ除  
シタ。将来敵ニ對シテ闘争力ノ強イ最左翼ヲ除外シタト云フ事ハ後年ノ  
修正主義運動ヲ招イタ。

一八九一年 *Engels* デ大會アリ。主タル起草委員ノカウツキーガコノ  
註釋ヲ出シタ。コノ本ノ編集ニモ *Bernstein* ノ協力がアツタ。内容ハ  
純マルキンズムデアリ。ラツサル主義ヲ清算シタ。之ニ對シテ *Engels*  
ガ綱領ノ批判ヲシテキル。共和国ニシロト云ツタ。

第九章

修正主義論争

*Revisionismus*

エアフルト綱領カラ大戦ニ至ルマデノ社會民主党史中最モ興味アルノ  
ハ社會民主党内ニ於ケルマルキンズムノ修正主義ノ抬頭デアアル。コノ事  
ハ單ニ独逸社會民主党内ノミナラス、何レノ社會民主党内ニモヤガテ  
起ルベキ普遍的意義ヲ有シテキル。

〔文献〕 独逸社會民主党トマルキンズムノ修正(歐洲最近ノ動向第二章)。  
コノ中ニハカウツキー、バルンシヌタイン、ローザノ相互ノ書物カラ  
引用サレテキル。背景トシア擧グベキハ第一ニ政治的背景デアアル。社會  
民主党ハエアフルト綱領以後近年党勢膨脹シタ。今之ヲ数字デ示セバ、

投票数

代議士数

一八七七年	四九三、二八八	一
一八七八年	四三七、一五八	不明

領壓去ノ出ル直前



彈壓中

一八八一年	三一、九六一	一
一八八四年	五四、九九〇	二
一八八七年	七六、一一八	一
一八九〇年	一、四一七、二九八	三
一八九三年	一、七八六、七三八	四
一八九八年	二、一七〇、〇七六	五
一九〇三年	三、〇一〇、七七一	八
一九〇七年	三、二五九、〇二九	四
一九一二年	四、二五〇、三九九	一

Socialisten Party

施行中モ一八八七年ヲ除キ増加シタ事ヲ記憶スベキデアル。カクノ如ク政治的ニ膨脹シテ未タ事が社會民主黨ノ態度ニ一轉化ヲ来タサンメタ。何故ナラ小党ノ時ハ過激ナ議論ヲシテモ政權ニアリツク事がナイカラヨイガ、大キクナレバ何時政府党ニナラヌトモ限ラヌカフ自ラ自重スレ。小党ノ場合問題ニナラヌ事デモ大キクナルト

問題ヲ生ズル。又小党ハ自己ノ存在ヲ示スタメニ激烈ナ議論ヲスル事がアリ得レ。例ヘバ一〇〇ノ集團ガアリ、六〇ト三五ト五ニ分レテキルトスレバ問題ハナイガ、四〇ト四〇トニ〇ニナレバ、二〇ノ向背如何デ雄辯ヲ決スル事ニナル。コ、デ小党ノ時ニ起ラヌ問題ガ起キル。二〇ハキヤスチンケボートヲ極ルニ至ルカラドチラカノ党派ト組ンデ労働立法ヲ通スコトモ出来ル。党ハコ、ニ轉化ヲ来タサザルヲ得ナイ事が起ツテ未タ、一〇名ノ一党トナソタトシテモ独逸代議士ノ定員ハ約四〇〇カカラ一党デハ如何トモスル事が出来ナイ。ソコデ軍備擴張ナドニハ賛成シテ消費税ニ非ズ賦産税ニ依ツテ賦産ヲ賄フ事ヲ主張スルト云フ様ナ事ニスル事トナル。

社會的背景

マルクス、エンゲルスガ共產党宣言ヲ書イタ時ハ資本主義ノ崩壊ハ近イト断言シタ。大恐慌ノ中ニ資本主義ハ必然的ニ崩壊スル。カカラ一日モ早ク目的ヲ達スルタメニハ暴力革命ニ依ルベシト主張シタ。併シナガ



ラ現實ニ独逸資本主義が基礎ヲ固メタノハ十九世紀ノ末デアレ、一八九  
五年エンゲルスハコノ事ヲ云ツテキレ、エンゲルスハ風ニ一八四八年一  
學ニ資本主義ヲ倒スタメニ暴力革命ヲ唱ヘタガ、ソノ後ノ状況が何時資本  
本主義が崩壊スルカ分ラヌ事トナツタ今日、消費組合、社會立法ナドが  
必要ト云ソテキレ、ソコデマルキストハ社會改良施設ニ目ヲツケテ来  
タ

恰モ十九世紀ノ末期ニ独逸資本主義が大発達ヲ遂ゲタ、余利價值が殖  
エタ、ソコデコノオコボレヲ労働者ニマクト云フ余裕が出来タ、社會改  
良ヲナン得ル條件が出来タ時之ヲ否定スルマルクス、エンゲルスハ一轉  
期ニ来タト云ハザルヲ得ナイ、

マルキシズムノ中ニ *Verelendungstheorie* 貧困説ガアルガ、之ハ  
誤リデアル事ゲ分ツタ、資本主義ノ發展ニツレテ労働階級ノ生活ハ却ツ  
テ良クナツタ、又政策トシテハ貧困デアレバアル程アロレタリヤノ革命  
思想ハツノルカラ貧困ヲ止メル様ナ施設ハイケヌト云ツタガ、事實トシ

テマアロレタリヤノ地位ハ向上シタ、一番革命思想ノ高マツテキレノハ  
地位ノ良イ労働者デアレ、

(文献) *Frithy Stenberg* ローザルクセンブルグ學派  
*Arthur Rosenberg* ボルシエウイズムノ歴史ノ著者

思想的背景

マルキシズム内部ニ変化が起ツテ来タ、宣言ヲ一八四八年ニ書イタ頃  
ハ恐慌が週期的ニ起ツタ、トコロが段々恐慌説ヲ改タメルニ至ツタ、明  
クニエンゲルスハ恐慌ハ微弱ナ形ニ慢性的ニナツテ行クト説イテキレ、  
カクテエンゲルス、マルクス共ニ初期ニハ暴力革命ヲ唱ヘテキタガ社會  
民主主義ヲ認メル様ニナツタノデアレ、十九世紀ノ独逸ノ如ク警察ト軍  
隊ノ良ク整備シタ時代ニハ合法ト云フ事ゲ最モ良イ手段デアルト云フ事  
ニ氣ガツイテ来タ、

一八七二年アムステルダムデマルクスが演説シタ、イギリス、アメリ  
カ、オランダハ除外例ダ、コ、平和的手段ヲ革命が出来ルト彼ハ言



ツタ・一八七二年ノマルクスノ演説デ分レ様ニマルキンズムノ建設者ガ  
既ニ修正ニ傾イテ来タノデアアル。

第三ニマルクスノ思想建設ノ順序ヲ見レバ一八四三年カラ四八年マデ  
ニ哲學ノ研究ヲヤツタ。コノ後テ主カク傾注シタノハ *Bürgerliche*  
*Gesellschaft* ノ解剖。即チ經濟學ノ研究デアアル。

トコロガ十九世紀ノ末ニマルキンズムハ哲學ノ重要性ガ失ハレ、經濟  
學ガ中心の勢力ヲ占メタ。カウツキーハ經濟學者タルニ止ル。彼ハマル  
クスノ原理ヲ基ニシテ新シイテーマガ出ル毎ニ分析ヲヤツタニ止マル。  
彼ガ當時ノ世界ニ於ケルマルキンズトノ主力カツタト云フ事ハ如何ニマ  
ルキンズムノ水準ガ低カツタカト云フ事ヲ如實ニ示シテキルト云ハヨウ。  
經濟學ハ單ニ科學ニスギナイ。價值判断ト云フ事ハ哲學ノ領域デアアル。  
コノ時代ハ科學萬能ノ時代デアリ。從ツテ宿命的、傍觀的デアツタ。  
*Finanz Kapital* ノ序文デヒルフアーディングハマルキンズムハ價值  
判断トハ別カト云ツテキル。変革ト云フ事ヲ考ヘルトキ之デハ萬足出来

ナイ筈デアアル。

然ラバ哲學ガ皆無デアツタカト云ハバ必ズシモサウデハナイ。エンゲ  
ルスハ一八八五年フオイエルバツハ論、七八年アンテイデユーリング論  
ヲ書イテキルガ、一八八五年エンゲルスノ書イタフオイエルバツハ論ト  
ドイツチエイデオロギト(一八四五―四六)トノ間ニハ非常ナ差ガアル。  
フオイエルバツハニ関スルテーゼ一一條ヲ見テモ外界ノ影響ヲ受ケルト  
共ニ外界ヲ変更スルト云フ考ヘガアル。外界ガ人ニ重要ナル影響ヲ與ヘ  
ルト云フ事カラ人間ガ外界ヲ変革シナクテハナラヌト云フ思想ガ強ク出  
テキル。之ハエンゲルスノ因果關係ヲ主トシタモノト格段ノ差デアアル。  
要スルニコノ頃ノマルキンズムハ經濟如ケルツタ。アツタカケノ哲學ハ  
エンゲルスノモノデアリ頗ル衰退セルソレデアツタ。

新カント派 *Neo Kantianismus* ノ動向。

カントカラヘーゲルニ至ル急速觀念諸者ノ中デモカントトヘーゲルト



ハ對立シテキル。ソノ後凡ソ一切ノイデアリスムス、殊ニ理想主義ガ  
没落シタ。ゴ、ニ現レタノガ唯物主義デアリ、之ガ哲學界デ漁夫ノ利ヲ  
占メタノデアル。一八六〇年代ニ於テ哲學ヲモウ一度興サントスル運動  
ガ起ツタ。彼等ハ Hegel ノタメニ哲學ガ七ビタト主張シタ。ソコテ彼等  
ハ一方ニ唯物論ニ對立シ、他ハ Hegel ニ對立スルニ至ツタノデアル。  
一八六五年 Otto Kiehlmann ; Kant u. die Epigonen が現  
レタ。彼ハ各章ノ最後ニ「カクテ吾人ハカントニカハラザルベカラズ  
ト結ンデキル」。

次ニ Albert Gange の Geschichte der Materialismus ト云  
フ書物デ、従来ノ唯物論ヲ歴史的ニ述リ、規範ト因果關係ノ區別ヲシテ  
マテリアリスムスカラハ因果關係ハ出ルガノルムハ出ナイト云ツタ。之  
カラ新カント派ハニツニ分レタ。

ソノ第一ハマールブルグ學派、他ハ西南独逸學派デアル。前者ニ屬ス  
ルモノ H. Cohen, K. Hatorp. 後者ノソレハ W. Windelband,

4. Rickert デアル。一九一一年 Karl Vorländer ノ Kant u.  
Marx が出版サレタ。カントイデアリスムスガ外界デ唱ヘラレテキタ爲  
ニ新カント哲學ガ入ツタノデアル。新カント派ヲ入レテマルキシズムヲ  
批判シ始メタ人ガ二人キル。Conrad Schmidt, Ludwig  
Wolffmann デアル。

社會民主党内ノ事情ニツイテ、  
前述ノ統計デワカル様ニ逐年膨脹ヲ續ケタ民主黨ハ十九世紀ノ始メ遂  
ニ飽和点ニ達シタ。先ヅ之以上フロレタリヤノ中デ黨員ヲ得ルコトハ不  
可能カト云フ事ニナツタ。之以上擴張セントスルニハ中産階級ヲ抱キ止  
ム必要ガアル。否中産階級ノ投票ガ既ニコノ中ニ入ツテ来タ。十九世紀  
ノ末期ニハ少カラザル自由主義者ガ入ツテ来タ。敵對ノイデオロギート  
持ツテ自由主義者ヲ抱キ止ム事ハ出来ナイ。コノ自由主義者ハ主トシテ  
中産階級ノ人デアル。中産階級、如何ニ考ヘルカト云フ問題ガ起ツテ来  
タ。



政党が大キクナルト組織化サレテ来ル。消費組合ト労働組合ヲ如何ニ組織ツケルカ。本部ニハ色々ノ人がキル。有給社員が狭ハレテ来タ。彼等ハ普通ノサラリーマン同様に知識ヲ賣ツテ生活スル。革命・ストライキヲマレバ生活ガドウナルカ分ラヌ。現状維持ト云フ事ガ彼等ノモットトナツタ。

経過

一八九一年エアフルト大會デ既ニ南独ノ首領 Georg von Vollmar が社会民主党ノ目下ノ任務ナル演説デ眼前ノ生活條件ヲヨクシナクテハナラヌ。抽象的ナ理論ヲ述べバデハナイト云ツタ。南独ハプロシヤト違ツテ自由主義者が多い。

更ニ Bruno Schönlanke が従来ノ考ヘ方ヲ修正セヨト云ツタ。之ガ修正ト云フ言葉ヲ用ヒタ始メデアル。更ニ彼ハ貧窮説ガ誤デアルト云ヒ始メタ。一九〇一年 A. Waag Revision des Sozialdemokratie

更ニ十九世紀ノ末色々ノ人が農家ニツイテマルクスノ説ヲ批判シタガソノ代表者ハ David デアル。之等ノバラバラノモノヲ集大成シタノガ Bernstein デアル。彼ハ一八九六年カラ九八年ニカケテ Neue Zeit = Programm des Sozialismus ト云フ題デ二年ニ亘ソテ自己ノ所信ヲ述べタ。之ガ一八九九年ニマトマツタノデアル。 Bernstein ハコノ書物ヲ出シテ既ニ修正主義論争ハルビコンヲ度ツタ感ガアル。マルクス、エンゲルスガ生キテ中タナラ自分ノ説ヲ認メルカラウト云ツタ。之ニ對シア直ニ反對シタノガ Kautsky デアル。 Bernstein ハエアフルト綱領ニ反對シタ。コノ二人ヲ左右トスレバ中央ハ Rosa デアル。彼女ハ Sozialreform oder Revolution ヲ書イテコノ問題ヲ取扱ツタ。

コ、ニ一言スベキハ三人ニ依ツテ論争サレタ修正論争ハ次ノ如ク要約サレシ。

一) 社会主義カ社会改良主義ク。



- (一) 社會主義ト自由主義ノ問題
- (二) 中産階級ノ考ハ方
- (三) 唯物辯證法ノ哲學ヲ如何ニ處理スルカ

Bernstein ノ傳記

一八五〇年一月六日生ル。家ハ貧困デアツタ。鐵道機關士ノ子然デア  
 ル。中學校位シカ出ナイ。ソノ後ハ、概學シタノデアアル。二十ニ歳ノ時  
 イゼナツハ派ニ入党シタ。彼ハ入党後 Eugen Dühring ノ書「經濟  
 學及社會主義教程」ヲ感服シテ讀シタ。之ヲ自分ノ周圍ノ人ニ薦メタ。  
 ソレハ何故カト云フトマルクス。エンゲルスハ大系ヲ簡單ニ要約シタモ  
 ノヲ共產黨宣言以來書イテナナイ。宣言ハ既ニ out of date デアル  
 ト云フニアル。之カラガ彼ノ Dühring 熱時代デアアル。彼ガ先ツ第一ニ  
 之ヲ薦メタノハバーベルデアアル。バーベルハフオルクススタートノ中  
 之ヲ精美スル論文ヲ書イタ。同派ノ中ニデューリング心醉熱ガ起ツタ。

唯一人反對シタノハリープクネヒトデアアルガ、彼スファミルクストデュー  
 リングガ何處ガ違フノク分ラナカツタ。コノ頃マルクスト Dühring ノ  
 差異ヲ明カニスルタメニエンゲルスハ反デューリングヲ書イタノデアアル  
 Bernstein ガエンゲルスノ反デューリングヲ讀シタノハ彼ガスイスニ  
 キタ時デアアル。彼ハ一八七八年夏 Karl Höpker ニツイテ銀行ヲヤ  
 メテスイスニ行ツタ。山水ノ美ニ行タレタ時鎮壓法ガ出。モハヤ迅速ニ  
 帰レナイ事ニナツタ。彼ハコノ事ニ落付ク事ニナツタ。Karl Kautsky  
 モ追放サレ。コノデニ人ガ落合ツタ。丁度ソノ頃エンゲルスノ反デュー  
 リングガ出タノデ彼ハ之ヲ讀シタ。丁度コノ頃 Kautsky ガ Neue Zeit  
 ヲ出シタ。Bernstein ガ Sozialdemokrat ヲ出シタ。

Bernstein ハヤガテイギリスニ落延ビタ。一九〇〇年代ニナツテモ  
 彼カケハ帰ラナカツタ。彼ハ英國デマルクスノ目ノ前ニアツタト異ナツ  
 タ英國ヲ觀察シタ。英國ノピースニ依レバベルンシユタインハフエピア  
 ン協會ノ人ニ接シテマルキンズムト異ナル社會主義ヲ知ツタ。ニツノモ



ノヲ對照シナガママルクスノ修正ニ思付イッ  
スノ英國社會主義化ナリト云ツタ

ベルンシユタインガ影響ヲ受ケタノハ英國ノ資本主義デアル。前壞ノ  
彼侯ヲ微塵モ存セヌ英國ノ資本主義デアツタマルクスハプロレタリアハ  
益々貧窮スルト云ツタガ、ベルンシユタインハ労働法規、消費組合等ノ  
改良施設ニ依リ資本主義ハプロレタリアヲ潤ス事ガ可能デアル事ヲ見タ  
ソコデ彼ハマルクスト異ツタ見解ヲ持ツニ至ツタ。改良施設ヲマラネバ  
ナラナイ。敢テ暴力革命ヲ起ス必要ハナイト結論スルニ至ツタ。彼ハ  
Neue Zeit = 「社會主義ノ諸問題」ト云フ長イ論文ヲ書イタ。之ニハ  
哲學カラ實踐ニ至ルマデ凡ユル事柄ヲ書イテアル。コノ全體ヲ貫イタ主  
旨ハ何處ニアルカ。「今日デハ事態ハマツカリ変ツタ。先生カツテ今生  
キテホレバ自分ノ説ニ従フタラウ。マルキストガ實際行ハントスルトコ  
ト言ツテキル事トハ違フノデハナイカ。従ラニ先生ガ云ツタカラトアソ  
レヲ繰返シテキルニスギナイ」ト云フニアル。一言以テ蔽ハバ「女自身

ノ現實ニカヘレ」ト云フ事デアル。健全ナル現實ニ立チ歸ラセントンタ  
事ニ意味ガアル。カガ併シ眞實ソノモノヲ高い眞實ニ進メナカツタトコ  
ロニ彼ノ缺點ガアルノデアアル。

カウツキノ略傳

ベルンシユタインヨリ五年オソク生レタ。彼ハ多方面ヲ知識ヲ有シテ  
キタガ結局哲學ハ自分ノモノトナフナカツタ。彼ハ結局自然科學的ナ物  
ノ考ヘ方ヨリ外ニ出来ナカツタ。エアフルト綱領ノ起草者デアアル。

ローザルクセンベルグノ略傳

一八七一年ポーランドニ生レ。女學校時代赤デ退學。社會主義運動デ  
頭角ヲ現ハスナラ独逸ニ行クベキカト思ツタ。一八九九年スイスノチニ  
リリツヒニ行ク。独逸ノ國籍ヲ得ルタメ独逸人ト婚約。Rilckeノ妻君  
ニナラントシタ。ポーランドニ於ケル資本主義ノ発達ヲ一八九七年ニ書  
イタ。既ニ彼女ハ一八九二年ニ十一歳ノトキポーランド社會党ノ首領ト  
ナツテキタノデアアル。



扱テ言、デ修正主義論争ヲ説ク一アタリベルンシユタイン、カウツキ  
I. ローザト云フ党内ニ於ケル右翼、中央派、左翼ノ三巨頭ニ三ツノ問  
題ヲ課シ、ソノ解答ヲ以テ全體ノ運動ヲ説明セントスルノ方法ヲトル  
三ツノ問題ト云フノハ I. 社会主義カ社会改良主義カ、II. 自由主義  
カ社会主義カ、III. 唯物辩证ヲ如何ニスルカ、即チ之デアル。

I. 社会主義カ社会改良主義カ。

Bernstein 社会主義ヲ捨テ、社会改良主義ニ走り、資本主義ハ崩壊

スベクモナイト主張シタ。

Kautsky 社会改良主義並ニ社会改良施設ヲ軽視シ社会主義ニ走ッ

ク。

Rosa 社会改良主義ハ明確ニ捨テガ社会改良施設ハ捨テナカツタ。

社会主義ヘノ闘争ノ練磨ノタメニ改良施設ヲナスベシト主張シタ。

彼女ハ究極ノ目的ヲ社会主義ニ置キ、ソノ手段ハ合法、非合法ノ何  
レニテモ差シツカヒナイ、機ニ應ジテ両者ヲ使ヒ分ケテ目的實現ノ

タメニ闘フベシト主張シタ。特ニ改良施設ニ関シテハプロコレタリヤ  
闘争ノ練磨ノタメニ大イニ必要ナリト主張シタ。彼女ノ主張ガ修正  
論争中ノ白眉デアル。

II. 自由主義カ社会主義カ。

Bernstein 自由主義ヲトツタ。

Kautsky 社会主義ヲトツタ。

Rosa 自由主義ニ對スル理解頗ル低シ。

III. 唯物辩证法ヲ如何ニスルカ。

彼等三人共色々ト論争シテナルガソノ程度ハ今日カラ見レバ極メテ  
浅ク問題ニナラナイ、三者ノ相違ハ次ニ批判ノトコロテ精シク述べヨ  
ウ。

全體ノ批判

第一ニ修正主義論争ハ普遍的意義ヲ有スル事ヲ注意スル必要ガアル。



第一ニ如何ナル政党モ一度膨脹スルト温和的傾向ニナル可能性ガアレノ  
デアレガ、ソレヲ独逸社會民主黨ハ修正主義論争ニ於テコノ時ニ表シタ  
ノデアレ。

第二ニ殊ニソレガ現存秩序ヲ改革スルト云フ急進的ナル政党カ或ル時  
限ノ度ニ達スルト温和化スル傾向ガアル。而シテ労働組合、消費組合ガ  
整フトソノ組織化ハ齒止メノ役割ヲスル。之ハドノ社會主義政党モ出會  
フマキ危険性ヲ包蔵スルノデアレ。併シナガラ重点ハ中間國家ノ社會主  
義政党ニ於テハ殊ニコノ傾向ガ顕著デアルト云フ事デアレ。ソレハ中間  
國家ハ自由主義政党ガ弱イ。自由主義ガ實現サレナイ。故ニ社會主義政  
党ガ他ヨリモ早ク發達スル。同時ニ社會主義政党ガ自由主義ヲモ担ハネ  
バナラヌ。自由主義者ガ社會主義政党ニ入ルノデアレ。日本デハ大衆党  
ハ政友會、民政党ヨリモ自由主義的デアレ。ソコデ社會主義政党グリベ  
ラリズムヲ担フニ至ル。カ、ル國家ニ於テハ凡ソ改革ト云フモノハ總テ  
社會主義政党ガ担ハネバナラヌ事トナルノデアレ。

ソコデ最後ニ之等一人一人ニ付テノ評論ヲヤルコトニスル。

1. E. Bernstein

彼ノトルベキ点ハ奈邊一アツタクト云ハバ、彼ガ多数ノ迫害ニ反抗  
シテ自己ノ意見ヲ守リ續ケタ勇氣ニアル。英國カラ常ニ原稿ヲ独逸ニ  
送り、自分ガ本當ノマルキストト主張シタ。ソノ説ノ善悪ハ別トシ  
テソノ態度ハ如何ナルイデオロギーノ持主ト雖モ一應ハ賞讃シナケレ  
バナラナイ。

第二ニ幻想ト偽稱ヲ以テシタ独逸社會民主黨ニ對シテ正直ニ現實ニ  
歸レト云ヒ。現實ノ状勢ノ上ニ總テヲ載セ採トシタ点ニアル。帝國主  
義反對、暴力革命ヲロニシナガラ現實ハカ、ルモノヲ求メナカツタ。  
彼ハコノ虚偽ヲ衝イテ眞實カラ出發スベキヲ指摘シタ。彼ノ友人ノ  
Ignaz Auer が彼ニ手紙ヲ書イテ曰ク「Edle Yo: オ前ノ云フ事ハ  
皆正シイ。併シ世ノ中ニハ正シイカラト云フヲモ皆云フテハイケナイ」  
ト。コノ言以テ當時ノ独逸社會民主黨ノ状勢ヲ窺フベシ。



然ラバ彼ノ批判サルベキ点如何。

(1) Bernstein ハ社會改良主義ト社會改良施設トヲ混同シタ。社會改良施設ハマルクスノ云フゲリラ戦デアリ。ソレヲ行ツタカラト云ツテ社會改良主義ヲ奉ズル必要ハナイ。併シ社會改良主義ト社會主義トハ根本的ニ對立スル。前者ハ資本主義ヲ永遠ニ変革スル意圖ヲ持タヌ。社會改良施設ヲ利用シタカラト云ツテ吾々ハ社會主義ヲ捨テル必要ハナイノデアレ。

(2) Socialism + Liberalism ト云フ問題ニ對シテハ、彼ハ Socialism = 對シテ正當ナル考ヲ有シテチナカッタ。 Liberalism ノ中ニハ十一ノ自由主義ガアル。経済的の自由主義ハ自由主義ノ一ニスギナイ。 Economist ヤマルキシストハ自由主義ハ経済的の自由主義ノミシカ知ラナイ。彼ガリベラリズムノ中ニ一番重点ヲ置イタノハ政治的の自由主義デアレ。ソコデ Socialism or Liberalism ト云フ問題ガ興ヘラレタ時彼ハ社會主義カ政治的の自由主義カト云フ

風ニトツタ。コノ entweder...oder カラ社會主義ヲ否定スル方向ニ定ツテ仕舞ツタノデアレ。英國ニ於テハリベラリズムハ第二期ノ社會改良主義ニ来テキタ。ソコデ彼ハ直グニ社會改良主義ニ赴イタ。社會主義カ自由主義カノ對立ハ實現手段トシテノ暴力革命主義カ政治的の自由主義カノ問題デハナイ。

唯物辯證法ノ哲學ニ對シテハ當時ノマルキシストガ營ニ哲學ノ領域ニ於テ幼稚デアツタノミナラズ彼モ亦幼稚カッタ。彼ハ Kant ヲ理解シナカッタカ。又ハ Kant ヲ理解シタトシテモソレト社會主義ヲ結ビツケル事ハ困難デアレト思フ。 Idealism ヲ以テ置換メントシタ着眼ハ良イカ Kant ヲ持ツテ来タ点ハドウカト思フ。

(註) M. Adleren ハ Kant ノ認識論トマルクストヲ結ビツケタ。併シ Kant ノ倫理學トマルクストハ結ビ付カナイ。 Kant ハ効利主義ノ持ッ人間觀ヲ嫌フ余リ地上ノ人間ノ持テナイトコロニ道德ヲ持ッテ行ツタ。善ヲ非常ニ高イトコロニ持ッテ行ツ



二、 轉ジテ Kautsky = 行ク。

タ、正義ノ意識ヲモツテ動イタ事カケガ善カト云ツタ。

(1) 彼ハ社會改良主義ト社會主義ヲ對立サセ後有ヲトツタト云フ事ハ正シカツタ。彼ハ多数ガ北帯シカト時社會主義ヲトツテ動カナツタ時ハ颯爽タル俤ガアツタ。併シ彼ニトルベキハコノ点カケタ。彼ハ改良主義ト施設トヲ對立サセタ。吾々ハ社會主義者デアリナガラ社會改良主義者デアリ得ル。

(2) 彼ハリバラリズムトマルキシズムヲ對立スルモノトシテトツタ。彼ハ社會主義ヲトル点カラ議會主義ニ好意ヲ持タナカツタ。併シ自由主義ト社會主義ヲ二者擇一ノ点ニ置ク事ハ誤デアル。

(3) 辨證法ノ哲學ニツイテ云ハバ彼ハ Bernstein ヨリモ理解ノ程度ヲ低イ。彼ハ如何ナル意味ニ於テモ思想家デハナカツタ。

三、 最後ハ Rosa Luxemburg デアル。

(1) 彼女ハ社會主義ヲトツタガ同時ニ又改良施設ニ反對スルト云フ誤

謬ニ落テナカツタ。ソレガ社會主義ニ達スル手段カト考ヘタ。

(2) 彼女ノ自由主義ニ對スル理解ハ充分デハナイガ、併シ彼女ハ二者ヲ明瞭ニ對立サセナカツタ。彼女ハ暴力革命デモ良イシ政治的自由主義デモ良イトノ見方ヲトツタ。併シ彼女ハ政治的自由獲得ハプロレタリアノ闘争ノ鍛練ノタメニ必要カト考ヘタ。

(3) 彼女ハ哲學ニハ余リ觸レテナイガ、觸レテキル範圍ニ於テ正確デアル。彼女ノ哲學ヲ私ハトラヌグノノ哲學ニ即シテキル限リニ於テ彼女ノ論理ニハ誤謬ガナイト云ヘル。

コノニ於テ發送社會民主黨ハ左中右ノ三派ニ分レタ。左翼ハ Rosa Luxemburg、右翼ハ Bernstein デアル。 Plekhanov ハロシヤカラ、 Saburova ハ伊太利カラ右翼批判ヲヤツタ。

彼女然ラバ党ハ現實ニハ如何ニ動イタカ。一八九八年スツツガルトデ問題ニシ、翌年九九年ハノーバーノ大會デバルンシュタイン反對ノ決議ヲシタ。一九〇三年ドレスデンノ大會デハーナー對ニ五八ノ多数デ峻最ニ



批判シタ。併シ實際ニハ Bernstein ノ云フ様ニ党ハ動イタノデアアル。南  
 独ノ聯邦議會デハブルジョア政党ト協同シテキル。トコロガ独逸全體ニ  
 關シテハ一九一一年帝國議會ノ選舉デ民主党ハブルジョア政党ト提携シ  
 タ。党ノ幹部ハ多数ノ修正主義者ヲ以テ占領サレタ。カクシテ大會ノ決  
 議案ハドウデアツテモ独逸社會民主党ハ Bernstein ノ云フ様ニカツタ  
 ノデアアル。

一九一三年六月三〇日社會民主党ハ膨大ナル軍事豫算ニ賛成シタ。元  
 來社會民主党ハ軍事費ニ反對シテ來タノデアアルガ、コノ時世界ノ注視ノ  
 下ニ大轉向ヲヤツタノデアアル。



周知ノ如ク當時ノ歐洲ニ於テハ聯合軍ト同盟軍ガ Balance of Power  
 ヲ保ツアキタ。ソノ時独逸ハ膨大ナル軍事豫算ヲ出シタ。全世界ハ社會  
 民主党ノ態度ニ注目シテ來タ。併シ社會民主党ハ第一党デハアツタガ全  
 體ノ四分ノ一デアツタニスギナイ。ソコデ民主党ハ如何ニ反對シタトテ  
 歐同カカラ徴収法ヲ大衆税ニ依ラス累進税ニ依ル事ニシテブルジョア政  
 党ト妥協シタノデアアル。

カ、ル社會民主党ノ危機ヲ克服スル方法如何。ソレニハ三ツノ事ヲ考  
 ヘラレラデアラウ。

第一ハ偉大ナル思想家が出テ独逸社會民主党ヲ統一スル事デアアル。ロ  
 ーゼ、カウツキ、ベルンシュタインデハ出來ナカツタ。

第二ハベールベルノ様ナ偉大ナ政治家が出テ人格的ニ統率シテ行ク事デ  
 アル。ベールベルハ一九一三年ニ死ンタ。

第三ハ時ノ経過デアアル。トコロガ時間ガナカツタ。一九一三年ノ民主  
 党ハ噴火山上ニアツタ。而シカ、ル統率ノナイ民主党ニ對シテ世界大戦



ノ重荷ヲ課サレタノデアルカラタマヲナカツタ。

世界大戦ニ付イテ

歐洲大戦ハ同盟軍ト聯合軍トノ戦デアツタガ、ソノ陣形ハ既ニ曰露戦  
争ノ頃カラ出来上ツテキタ。即チ一方ニ独逸土ノ教線ガアリ、他方ニ佛  
露ガ之ニ對シテキタノデアアルガ、英國ハドツチカズダツタ。併シド  
ラカト云ヘバ親佛派デアツタ。曰露役後オーストリーガホスニヤ、ヘル  
ゼボニヤヲロシヤノ虚ニ乗ジテ奪ヒ、独逸ハ海軍ヲ派シテモロソコヲ奪  
ツタ。當時歐洲ハ非常ナ危機デアルト云フ事ハ前カラ一般ニ知ラレテキ  
タ。一觸即発ノ危機ニアツタノデアアル。大戦前三四年間ハ歐洲各國ニ於  
ケル外交官ノ必死ノ活躍ノ時期デアツタ。

独逸ノ策戦ハ *Schlafen* ノ策デアリ、内戦策戦ト云ハレル。即チ佛

ニ徹底的ナ致命的ナ打撃ヲ與ヘル事デアレ。巴里城下ノ誓ヲセンメ直チ  
ニ大軍ヲ引アゲテロシヤニ侵入セントスルノデアアルガ、之ニハ勅員令ガ  
早イ事ト鉄道ガ白佛國境ニ大軍ヲ送ル事ヲ得ルトノ條件ヲ必要トスル。  
更ニロシヤノ勅員令が遲イト云フ事モ必要デアレ。一九一四年八月四日各  
國入り乱レテ勅員令が下ツタ。當時ハ未ダ英國ガ聯合軍側ニ入ラナカツ  
タノデ英國ガ何レニツクカハ興味ノ中心カツタノデアアルガ、独逸參謀本  
部デハ白國ノ中立ヲ侵シテモ侵サナクトモ英國ハ必ズ敵ニマハルモノト  
ノ見込ヲ持ツテキタ。カソル時独逸ノ外交官ハ駐英大使ノ交渉ノ結果ヲ  
綜合シテベルギーヘノ侵入ニ同意シナカツタガ、結果ハ參謀本部ノ意見  
通り白國ノ中立ヲ侵シ一舉巴里ニ進軍シタガ所期ノ効果ヲ收メ得ナカツ  
タ。コノ時独軍ニハ三ツノ誤算ガデツタ。第一ハ白國ノ抵抗ガ意外ニ強  
カツタ事デアレ。第二ハ後方部隊ト前方部隊ガ別レテ仕舞ツタトコロ佛  
ノニコソツフレ元帥ニ側面攻撃ヲマラレタ事デアレ。第三ハ既ニ佛獨ノ大  
軍ガ巴里ノ近クデ對陣シテキル時東プロシヤニハロシヤノ軍隊ガ自ソ



未タ事デアル。

ソコテ独逸軍ハ内戰東戰ヲ普佛戰役當時トハ逆ニヤラントシ、ヒンデ  
ンブルグガロンヤノ大軍ヲポロンヤノ湖沼地方ニ追込シテ擧殺シタノヲ  
キツカケトシテ大イニ東方ヲ蹂躪シ、大軍ヲ又西部戦線ニ返シテ九一  
八年三月ニ八日午後四時國家的運命ヲカケテノ總攻撃ヲ開始シタ。併シ  
ナガラコノ時佛軍ニタングガ現レテ猛威ヲ振ツタ事及ビアメリカ七五萬  
ノ新軍ガ聯合軍例ニ加担シタ事ナドノタメニ失敗ニ終ツタ。カ、ル中味  
方ハ總崩レトナリ終ニトルコ、ルーマニヤノ軍独講和ニ次イテ独逸モ講  
和セザルヲ得ヌ窮境ニ立到ツタノデアレ。

### 第十章 世界大戦

独逸社會民主党ノ大戦ノトキドツタ立場及ビ態度ニツイテ、ロシヤノ

影響ノ下ニアル日本等ドイツ社會民主党ヲ以テマルキシズムヲ裏切ツタ  
ト見ルガ然シ必ズシモソウハ云ヘヌノデアレ。

第一ニマルキシズムハ戦争ニ對シ絶対ニ否定ハンナイ。條件附ニノミ  
否定スルノデアレ。即チ侵略戦争ヲ否定スルガ防禦戦争ハ肯定スルノデ  
アル。更ニソノ時ノ社會進歩ニ及ボス影響ヲシテ必ズシモ否定シハシナ  
イ。社會進歩ヲ進行セシメ、歴史ノ齒車ヲ前ニ運バストコロノ戦争ナラ  
バ否定スル事ハナイ。カクシテ防禦カ侵略カ、社會進歩ニ逆行スルカ否  
カハ必ズシモ簡單ニ決定シ得ザル問題デアレ。普佛戦争ニ於テペーベル  
トリイフクネヒトハ侵略カ防禦カ分ヲズニ棄權シタノデアレ。コノトキ  
ラツサール派ノシユワイツァー等ハピスマークノ侵略戦争ナリトシテ反  
對投票ヲ取行シタ。前者モコノ事ガ明瞭ニナツテカラハ反對投票ヲシタ  
ノデアレ。世界大戦ニ對シテハロシヤノ侵略行爲ナリト感ジ若シロシヤ  
ガ勝テバ歴史ニ逆行スルト云フ考ヘカラドイツ社會民主党ハ戦争ニ賛成  
シタノデアレ。



第二ニ第二インターニ彼等ハ参加シテキタ。第一インターハ一八八四年ニ成立一八七三年前壞シタ。後一八八九年ニパリデ第二インターガ結成サレタ。之ハ各國社會党ニ自治ノ範圍ヲ廣ク残シタ点デ第一インタート異ル。第二インターハ集會ノ都度戰爭ニ興味ヲ持ツテ来タガ、殊ニ一九〇七年ノ Stuttgart ノ大會。一九一二年ノ Basel ノ大會ニ於テ大義ヲナシ。見解ガニツニ分レタ。一ツハ Basel ヲ代表トスルトコロノ侵略戰爭肯定ノ立場デアリ之ガ支配的デアツタ。他ハローザヲ代表トスルトコロノ無差別的ノ戰爭反對ノ立場デアル（防禦ト侵略ハ事實差別シタイ）。モウ一ツノ点ハ Basel ガ平和ヲ望ムニ對シ Roda ガ表面党トシテ反對シナガラ事實内心デハ戰爭勃発ヲ望ンデキタ事デアル。何故ナラ彼女ハ戰爭ヲ以テ革命ノ前夜ナリトシタカラデアル。コノ對立ニモ拘ハラズ然シ心ナラズモ大衆ノ空氣ニ引カレ決議ハ戰爭反對。若シ起ツタナラバソレヲ革命ニ導クト云フ事デアツタ。コノ態度ニ誤謬ガアル。

一九一二年九月二一日ニ *Comintern* デ社會民主黨ノ大會ガアリ帝國主

義ニ對スル吾々ノ態度ト云フ決議ヲナシ。ソノ時ノ大勢ハ絶對多數デ帝國主義戰爭反對デアツタ。之モ内心ト表現トガクヒチガツタ点デアル。母之。大戰ニ對スルコノ政黨ノ態度ハ理論ト實踐ノ不一致。即ケベルンシエタインノ衝イタ民主黨ノ缺點ガ現ハレタノデアル。カ、ル弱点ガアツタカラ戰爭ニ結局賛成ンタノデアツテ、然ラザル意味デドイツ社會民主黨ガマルキンズムヲ裏切ツタト云フノハ酷デアラウ。

始メノ中ハ黨ハ戰爭防止ニ必死デアツタ。然レ一旦始ツタ以上之ヲ阻止スルコトハ出来ニクイ。オーストリアガ先ツセルビヤニ開戦シタ。直チニロシアニ動員令ガ下リ。續イデドイツニ動員令ガ下リ。ソシテ忽チ宣戦トナツタ。

一八一四年八月四日ドイツ帝國議會ハ軍事費協賛ノタメニ召集サレタ。同日ニ Kaiser ノ演説ガアリ。 *Sch. Kerne keine deutsche Partei, Ich kenne nur Deutsche* 社會民主黨ニ對シテ *gesture* ナツカッタ。翌五日社會民主黨ハ態度ヲ次シナガラ全員一一名中一四名戰



争反對がアツタ。他ハ熱狂的ニ賛成シタ。党ハ全員一致デ可決ニ決シタ。コノ一四名中ニ Bernstein, Kautsky ガキタ。 Hugo Haase ノ演説ノ主旨ハ今吾々ノ生命財産ガ危険ニ類シテキル。ロシア專政國家ガ敵デアルト云フ事デアツタ。

社會民主党ノ大部ノ者ハ上ノ理由ノミナラズ戦争ニ勝ツ事ヲ前提シツレニ依リプロレタリアノ生活條件ノヨクナル事ヲ希求シタ。代表者ハ Edward David, Heinrich Kummer, Paul Senfisch 等デアル。

(Konrad Häuisch: Die deutsche Sozialdemokratie in und nach dem Welt Krieg 1916) 又社會民主党員 Dr. Frank ハ自ラ出征ヲ政府ニ願ヒ出テ Deutschland über alles ト云フ状態ニナツタ。

ロシアデハボルシエヰイスト(少数派)ハ戦争ニ反對シタ。Semir ハ國內ニギナカツタ。ボルシエヰイストハ追放サレタ。當時自己ニ忠實カツタノハロシアノマルキストカケカツタト Semir ガ云ツテキルノハ誤

デアル。他國カラ侵略シガタイ地理的事情ニアルロシアト侵略サレ易イドイツ、フランス等ト同一ニスルノハ誤デアル。

フランスデハ社會党ヲ擧ゲテ戦争ニ参加シタ。イギリスニハ可成リ多クノ戦争反對論者ガアツタ。労働者階級ハ戦争賛成デアツタ。唯独立労働協會ノ人々ハ断然反對シタ。ソノ首領者ガ Ramsay MacDonald,

Keir Hardie, Philip Snowden デアル。又クエーカーガ彼等ノ宗教的信念ヨリ反戦ヲ唱ヘタ。之等ヲ Conscientious objector ト云ヒニミ千人アツタガ武器ヲ執ラナイ。

レニンハ追放サレテ國境ノ近クニキタ。ドイツ社會民主党ノ戦争賛成ヲ聞イテ非常ニ憤激シタ。

一九一四年一〇月カール・リープクネヒトガーツノ事件ヲ起シタ。彼ハプロシヤ國會ニ皇帝ガ末タノニ對シテ立憲ナカソク事デアル。之ヲ民主黨ノ幹部ハ Wichtigsteiner トシテ排斥シタ。党議テ戦争ニ賛成シテカラカール・リープクネヒト、ローザ・ルクセンブルグ、フランツ・



メーリング、クララ・ツエトキンノ四名ガ吾マハ反對ナンカト云ヒ出シ  
 一九一四年中ニ一七名トナツタ。  
 一九一四年一月二日反對 *note* ガ一衆生ジタ。之ガリープクネヒト  
 デアル。一九一五年三月二十日反對ポートガ二衆トナツタ。 *Rifles* ガ  
 之ニ加ツタ。更ニ三〇名ガ棄權シタ。 *Haase*, *Bernstein* 等デアル。  
 一九一五年六月 *Haase*, *Bernstein*, *Kautsky* 等ハ全党員ニ衆ヲ  
 僑バンテ党幹部ニ専制ヲナジツタ。一九一五年一月一日反對 *note*  
 ハニ〇票ニ増加シタ。  
 一九一六年三月二四日反對少数派ガ多数派ニ挑戰シタ。一九一七年三  
 月一八日、彼等ハ党内ニ之等ノ別派ヲ作ツタ。之ヲ *Sozialdemokratische*  
*Arbeitergemeinschaft* ト云フ。多数派ハ之ヲ除イタ。一九一七年四  
 月六日少数派ハ *Unabhängige Sozialdemokratische Partei*  
*Deutschland* (U.S.P.D.) ト云フ党ヲ作ツタ。同時ニ U.S.P.D. ノ中  
 ニ *Sparksbund* ト云フ最左翼ノ團體ガ出来タ。ローザ・リープク

ネヒト等デアリ、之ガ後ノ共産党トナツタ。  
 多数派ヲ S.P.D. ヲハ *Mehrheit* ト云フ。 S.P.D. ノスローガンハ祖  
 國デアツタ。社會祖國主義者。 U.S.P.D. ノスローガンハ平和デアツタ。  
 社會平和主義者。 S.D. ノスローガンハ革命デアツタ。社會革命主義者。  
 彼等ハ必ズシモ戦争ニハ賛成シナイ。革命ガ目的デアツタ。修正主義ノ  
 態度ガ戦争ノ時爆發シタノデアアル。  
 多数派ハ *Burg Frieden* 城内平和ト云フ事ヲ常ニ唱ヘテキタ。他ノ  
 二派ハ戦争中ヨソ革命ノタメニヨイ時カトシ、徐々ニ革命ノ準備ヲ始メ  
 タ。敗色濃クナルニツレ革命ノ條件ガ熟シテ来タ。  
 一九一六年 *Sparksbund* 金属工ノストライキヲ指導シタ。  
 一九一八年一月百萬ノ労働者立ツテ政府反對ノ運動ヲ起シタ。首領ハ  
*Richard Müller* デアル。同年二月ニ二日 *Oskar Cohn* ト云フ  
 代議士ガ議會ヲ演説シタ。若シ戦争ヲ止メナケレバ民衆ガ革命ヲ起スデ  
 アラウト。



一九一七年一月レーニン・トロツキーハドイツト講和ヲ結ンタ。

コノ重大ナ危機ノ時國民ヲ指導シテ末タノハ誰ク。國民ハ國歩艱難ノ時強イ人ヲ求メルモノデアアル。例ヘバ英國デハロイド・ジョージガカ、ル人物トナリ、佛國ハクレマンソーガ指導シ、米國ハウイルソンガ大統領デアッタノデアアルガ、独逸デハカイザーデハナイ。彼ハ決断力、持續力ガナイ人デアアル。一九一六年ニナツテ来ルトカイザーノ云フ事ガ常ニ衰ツテ末タ・コノ独逸ノ運命ヲ引ハツテ行ク事ハ出来ヌ事ハ明白ニナツタ。カイザーヲ失ツタ國民ハ誰ヲ指導者トシタカト云ハバ參謀總長 *Siedensdorf* デアル。彼ハヒンデンブルグヲ援ケテ東プロシヤデ名聲ヲ擧ゲタ。

一九一六年カラニ年間ニ亘ルリューデンドルフ独裁時代ガ末タ・マルキストローゼンベルグハ彼ヲソノ着書ノ中デ非常ニホメテキル。然シコノリューデンドルフスヲ九月ニ曰ク休戦ノ要求ヲ政府ニ出シタ。休戦ヲウイルソンニ要求シロト云ツタ。ウイルソンハ一九一八年九月二一日

*fourteen points* ヲ述ベタ。ウイルソンハ無條件、無賠償ト云フ事ヲ云ツタ。ソコデ独逸ガ之ニクヒツイタノデアアル。トコロガ之ヲ取ツタ主腦部ハ非常ニ狼狽シタ。之ヲ眞剣ナ休戦トシテ外國カラ認メシメルタメニハ独裁政治ヲ排サネバナラヌト云ツタ。

一〇月二日ハーデンノ王様ガツタ *Prinz Max von Baden* ヲヨシテ帝國宰相トシ、彼ノ意ノマ、ニスルト云フ事ニナツタ。閣員ノ中ニ社會民主黨員ノ *Scheidemann* ト *Bauer* ガ連入ツタ。一〇月五日ウイルソンニ休戦提議ヲシタ。従来進歩主義ナリシ者ヲ獄カラ出シタ。一〇月二一日 *Kautsky*、リーポクネヒト放免。

資本主義ノ飛達、オクレタ独逸ハ一七八九年佛大革命、一六八九年英國ノ革命デヤツタ事ヲコノ時漸ク独逸ガヤツタノデアアル。人之ヲ稱シテ *Revolution von oben* ト云フ。之以復屢々問題ガアツタガ、ワインマール憲法モ結局コノ時ノ要求ノ内容ニスギナイ。

コノ大変化ヲ民衆ハ知ラナカツタ。何故カト云ハバ民衆ニ政治的訓練



ガナイカラデアル。コノ変化ガ民衆ニハ分ラナカッタノデアル。制度ハ  
 度ツタガ古イ人物ガ其處ニ居据ツテキタ。次ニ議會ガ休會中デアノ  
 タ事ガソノ理由デアル。更ニ戒嚴令ガ續行サレテキタ事ニモヨル。  
 起ラナツアモヨイ独逸革命ガ起ツタノハ民衆ガ之ヲ知ラナカッタカラ  
 デアル。政治的訓練ノナイ人民ガ如何ニ大キナ犠牲ヲ弗ハネバナラヌカ  
 ラコノ事ハ如實ニ示シテアル。  
 一〇月五日休戰提議ウイルソンニ到着。一一月一日休戰條約。コノ  
 條件ハ独逸ニハ非常ニ悪カッタ。

第十一章 獨逸革命

總攻撃ガ始ツタ時經過ヲ見マウトシテ靜ソマキタ革命運動ガ又再燃シ  
 始メタ。

一〇月七日 Berlin デ會合シ革命ノ準備ニ着手サレタ。更ニ將來ノ革  
 命ノ幹部ガ出来タ。ソノ中ニ Richard Müller, Seitzner,  
 Hauwig, Emil Bar ガ居ル。ソノ會ニハ Siebknecht モ入ッタ事ガ  
 アル。

ソノ革命トハ何ヲ意味スルカ。要スルニ戰爭ニアキタ國民ノ不満ニ火  
 フツケテ暴動ヲ起サントシタノデアアル。

トコロガ丁度コノ時北海ノ軍港 Kiel ニ暴動ガ起キタ。コノ獨逸ノ  
 艦隊ガキタ。之ハ戰爭中ハ殆ンド港ノ中ニキタガ、陸軍ガ敗北ナル事明  
 白トナツタ時、一〇月三〇日太平洋艦隊ニ命ガ下リ、出動シテ英國艦隊ト  
 雌雄ヲ決シロト云ハレタ。トコロガ反抗シテ命令ニ従ハナカッタ。独逸  
 ノ海軍士官ハ大抵大地主ノ子弟デアアル。士官ハ士族ダツタ。平民ガ貴族  
 階級ノ人ト接スル機會ハ軍隊カケデアツタ。統帥權ガ議會ニ移ツタト云  
 フ事ヲ彼等ハ知ツテキタノデアアル。キールノ暴動ガキールノ工廠ノ問題  
 ニ飛火シタ。革命旗ガ軍隊ノ上ニ舉ガルト云フニ至ツタ。



然シ如何ナル意味カハ明カデハナイ。キールニ始ツタ運動ガ迄クニ終  
ツタノガミエンヘンデアル。一月七日 Kurt Eisener が首領トアリ、  
バイエルンノ王室ヲ追ヒ出シタ。議會ハロシア革命ヲ採用サレタ特別ナ  
方法ヲトツタ。ソレハ Räte-system デアル。之ハ職能代表的ナモノデア  
ル。ソノ方法デアレバ社會主義ガ實現サレル可能性ガアル。

Kurt Eisener が Republic ノ大統領トナツタ。ミュンヘンハバイエ  
ルンノ首領デアル。カカラ非常ナ危険ガアツタ。オーストリー、ハンガ  
リーガ單独諸和ヲシテキルン、伊太利トハ近イカラー一番脅威ヲ感スルト  
コロデアル。

一月九日ベルリンリテ罷業ガ起ツタ。ソシテベルリンノ兵卒評議會ガ  
成立シ、一應之ガ権力ヲトツタ。九日正午首領 Ebert が宰相ノ位ニツ  
イタ。社會民主黨系統デ内閣ヲ作ツタ。

革命ヲ自由主義ヲ終ラシテ良イカ、ロシアノ如キプロレタリア革命ヲ  
ヤルベキカト云フ問題ガアル。之ガニツ對立シタ。スバルタクス、ブ  
ン

トノ人ハ今ヤルベシト主張シタ。多教派ノ人ハ先ツ自由主義革命ヲヤラ  
ネバナラヌ。ソレカラ次ニプロレタリア革命ヲヤルベシト云ツタ。

Nationalversammlung

Räte System

ノニツデアル。コノニツノニ右擇一ノ問題ガ自由主義カ社會主義クノニ  
右擇一ノ問題デアレ。

一月九日防兵評議會大會ガベルリンデ行ハレタ。三〇〇〇人参加。  
ソノ時大體多教派社會民主黨ノ方ニ傾イタ。最左翼ハコ、デ敗レタ。人  
民委員會ヲ休ツテ之ニ暫クノ間奏セヨウトシタ。Der Rat der

Volksbeauftragten

ガ成立シタ。コノ中デスバルタクス團ノ人ハ排除  
サレタ。段々 K. S. P. D. ノ態度ガ多教派ニ近ヅイテ来タ。ローザ、リ  
ンネヒトハソコデ先ツコノ革命ハリバラーナルナモノニナルトイフ見透  
シヲ持ツタ。一月三日彼等ハ別ノ党ヲ作ツタ。之ヲ独逸共産労働党



ト云フ。

一月一六日カラニ一日迄全國ノ労兵評議會ノ大會ガベルリンデ開カレタ。ソノ時ノ代表者ノ數ハ四九〇名、労働者四〇六名、兵士八四〇名、S.P.D.ニ九八名、U.S.P.D.一〇一名、人民党ニ五名デアッタ。四九〇名ノ中ニ記入シナイト云フモノガアル。労働者ノ中ニニ九名、兵士ノ中ニニ六名アッタ。

一九一九年一月一九日ヲ國民會議ニ出席スル代表者ノ選挙日トスル事ニ決シタ。ローザ、リーポクネヒトハ遂ニ合法的舞台デ效レ遂ニ暴動ニヨル奇襲以外ニ方法ガナカッタ。

カクア今ヤPutzkeガドウ終ルカト云フ事ガ残サレタ唯一ノ問題トナッタ。之ハ次ノ如キ形ニ於テ起ッタ。

一月二日ニ三日ニ四日ベルリンノ警衛ノタメニ帯在シテキダ水兵ガ暴動ヲ起シ、Vorwärts前進ノ本社ヲ襲撃シタ。之ハ時ノ政府人民委員會ノ手ニ依ツテ鎮壓サレタ。U.S.P.D.ノ人民委員ハコノ鎮壓ニ不満デ反對シ

就退シタ。ソコデ人民委員ガ獄ゲタノデ新ニ政府側ノ人ノ中カラ選ラバレネバナラナカッタ。S.P.D.デKoskeガ陸海軍ノ人民委員トナリ、Wisselガ社會政策ノ人民委員トナッタ。トコロガ當時ベルリン警視總監ガU.S.P.D.ノ出身デアッタカラ警視總監ガ恰モ暴動ノ本部デアルカノ觀ヲ呈ンタ。仲々之ニ手ヲツケル事ハ出来ナカッタガ、一九一九年一月四日政府ハ遂ニ之ヲ罷免シタ。一月五日コノタメニ暴動起リスバルタカス同盟トU.S.P.D.トガ聯合シ、ソノ指導ノ下ニニ〇萬ノ労働者ガベルリンノ郊外テイアガルテンノ傍ニ集合ンタ。コノ瞬間ニハ命令一下政府ガ倒レル様ナ状況ヲツタガ一晚幹部ガ密議ヲ重ネテ中ルカケデ在革時間ヲ経過シ決定ガ仲々下ラナカッタ。一月デベルリンハ寒カッタノデ一晚ノ中ニ人間ノ數ガ少クナッタ。次ノ日 Vorwärtsヲ襲フテ之ヲ占領シ主筆 F. Stauphenヲ捕ヘタ。トコロガコノ時既ニノスケガ早クベルリンノ市街ニ退キベルリン外ノ軍隊ヲ引イテ一日ニベルリンニ入リ一日暴動ヲ鎮壓ンタ。コ、デノスケノ棘腕ガウタハレタ。U.S.P.D.ノ幹部ハ戦争カラ革命ノ時期



マ通シテ常ニ優柔不断舉措度ヲ失ヒ勝テアツタノニ、コノ時ノノスケ  
ノ行動カケハ賞讃ニ値スルモノデアアル。一日 *Sedeborn* ガ捕縛サレ  
タ。一九日リープクネヒト、ルクセンブルグガ捕ハラレタ。ニ三日オッ  
レテ *psychisches* ガ捕ハラレタ。皆直チニ殺サレタ。ドウシテ殺サレシカ  
ソノ仔細ハ両方ノ云ヒ分ガアルカラ良ク分ラヌ。  
叔テローザハ戦争中ハ軍國主義攻撃ノ文章ヲ常ニ書イササシ。リープ  
クネヒトト共ニ監獄ノ中ニオタガ如何ナル手段ニ依ツタノカ、手紙ヲ書  
ク事ガ出来タト見エル。

*Briefe aus dem Gefängnis; Briefe an Karl und Luise  
Kautsky.* 等ノ文獻ヲ参照セヨ。

彼女ハ一九一七年ロシア革命論ト云フパンフレットヲ書キ一九二二年  
出版サレタ。ソノ中ニハ吾輩ナ見解ガ多イ。彼女ハロシア革命ガ大衆ヲ  
背負ツテオナイコトヲ主張スル。一部ノ人ガ独裁シテキルトキ大衆ノイ  
ニシヤテイープガ如何ニ殺サレテキルカガ分ルト云ツテナル。トコロガ

不幸ニモ彼女ハ監獄カラ出テカラハ全ク考ガ違ツテ仕舞ツタノデアアル。  
彼女ハ併シナガラ十九世紀カラ二十世紀ニ亘ル世界ノ婦人ノ智識デアツ  
タ事ハ間違ナカラウ。一生結婚シナカッタガ最後ニハ *See psychisches*  
ト恋愛シ非常ニ感シタ事ガアツタラシイ。

次ニリープクネヒトハ非常ニ熱情的ナ人間デアツタ。叔ノ著作 *Reden  
und Aufsätze* デソノ事ガ良ク分ル。併シ叔ハ論理ノ点ニ於テハ到  
底ローザニハ及バナカッタ。以上デ革命ノ経過ヲ終ル。叔テ次ノ問題ハ  
國民議會ヲ開ク事デアアル。

一月一九日代表者ノ選舉が行ハレタ。男女ニ〇歳以上ノ者ニ選舉權ヲ  
與ヘタ。有難者ニ六七六萬、投票者三四〇〇萬、投票率八二・六八%デ  
非常ナ好成绩デアツタ。コノ時ノ投票ノ結果ニ依リ吾々ハ當時ノ全放逸  
人ノ政治思想ヲ窺ヒスル事ガ出来ルト思フ。

投票数

代議士数

S.P.D.

一一、五〇九、一〇〇

一六三



U.S.P.D

11,317,300

二二

民主党

五,641,800

七五

カソリック党(中央党) 五,980,000

九一

要之、資本主義政党……一六五七四〇〇〇

社会主義政党……一三八二七〇〇〇

大衆ハコノ時尚資本主義維持ニ向ツテキタ事ハ以上ノ数字ニ於テ明ク  
デアル。以上ヲ独逸革命ノ動向ガ決定サレタノデアル。

二月六日ワイマール国民議會ガ行ハレタ。二月一日社会民主党ノ  
領袖 *Ebert* ガ大統領トナリ、*Scheidman* ガ宰相ノ地位ニ就イタ。  
コノ内閣デハ *S. J. R.* カラセ名ノ閣員ガ出タ。民主党カラ四名、中央党カ  
ラ三名、之カラヒットラーノ政權マデ十回位内閣ガ更ツタガ社会民主党  
ハ常ニ之ニ引續キ聯合内閣ヲ作ツタ。人ハ之ヲ社会民主党ノ單獨内閣ト  
云ヒ、政權ヲトリナガラ社会民主党ガ何物モヤラナカツタト云フ。併シ  
實際ハ社会民主党ガ絶對多数ヲ制スルコトハ出来ナカツタノデアル。若

シ第一党ヲ得レバ社会主義法案ヲ通過スル事ハ出来レデアラウ。併シ客  
觀的ノ数字ハ寧ろ資本主義維持ノタメノ投票ノ方ガ多イノデアラカラ改  
革法案ヲ通過スル事ハ不可能ナノデアレ。マルキシストガコノ点ヲ攻撃  
シテ社会民主主義ハ實行一致シナイト云フガコノ点ノ明白ナ科學的認識  
ヲ缺ク愚論ナリト云ハネバナラヌ。

八月一日憲法ガ成立シタ。之ガ所謂 *Weimer Verfassung* デア  
リ。ヒットラーガ政權ヲトルマデ独逸ヲ支配シアキタモノデアレ。普選  
純帥權ヲ議會デ持ツ事、宣戰講和ノ權ヲ議會デ持ツ事等ガソノ特徴デア  
ル。

カクテ独逸ニハナポレオン時代カラ變ミ、一度一八四八年ニ於テ失敗  
シタ自由主義ガ漸ク未タ。何ゾソレオソカリシヤトノ感ナキニシモ非ズ  
デアレ。

次ニ独逸革命トロシア革命トノ差ニツイテ述ベル。  
前者ハ自由主義革命デアリ、後者ハ社会主義革命デアレ。然ラバ何故



ニロシアが成功シテ社会主義革命が独逸で行ハレナカッタカ、  
第一、革命が勃発シタ時ノ政府が既ニ平和主義ヲトツテキタ事、ヤレン  
スキ政府ハ尚戦争ヲ繼續シテキタ事、

第二、西ヨーロッパノ国家タル独逸ハ政治的自由主義ノ信念がロシアニ  
比シ比較ニナラヌ程強カッタ事、

第三、社会民主党ハ先ヅ自由主義ヲヤリ議會ノ中デ多数ヲ獲得セントシ  
タ、ロシアデモブレハノフノ一派ハカ、ル方針ヲトツテキタ、併シ  
ロシアデハコノ勢力ガ弱カッタ、反對ニ独逸デハスハレタカスブ  
ドノ勢力ガ強カッタ、

第四、独逸デハ封建的勢力、資本主義的勢力ガ非常ニ強カッタ、例ハバ  
ピスマルク、ラテナウ、ステインネス等ノ如キ人物ハロシアニハ見  
當ラナイ、

第五、独逸デハ農村ノプロレタリアートガ少イ、農村デハ中小地主ガ多  
イ、ロシアニハ少数ノ大地主ガ下リ、他方ニハ大勢ノ農村プロレタ

リヤガアル、コ、デハ「土地ヲ農民ニレナルスローガンガ農民ニア  
ソピールシナイ、

最後ニ、独逸デハ外國ノ侵略ニ曝サレルト云フ危険ニ於テ非常ナ差ガア  
ル、如何ニロシアノ内部ガ紊レテキテモ大兵ガロシア内部ニ来ルト  
云フ危険ハナイ、若シ独逸ガヴオルンエヴイキ化スルナラバ英、佛  
白ノ軍隊ガ独逸ニ侵入シ之ヲ併合スル危険ガアツタ、

独逸革命ノ批判

第一、ソ、ロハ社会主義革命ヲ断念シ、自由主義革命ヲ貫徹シタ、私ハ  
コノ態度ヲ是認スル、自由主義革命ノ上ニ乘ツテ社会主義革命ガナ  
サルベキモノナラデアル、多クヲ望メバ一路社会主義革命ヲヤルベ  
キデアアルガ大衆ノ意識ガ未ダコ、ニ来テキナイ、必カラ余リ多クヲ  
望ミスギルト自由主義ドコロカ却ツテ自由主義サハ失ハレル危険ガ  
アル、事實ヒツトラー政権確立ガ之ヲ立證シテキル、

第二、マルキシズムノ理論ソレ自身ノ中ニ矛盾ガアル、修正主義論争ノ



時ノローザ、ルクセンブルグハ正シイ理論ヲトレバ民衆カラ分離ス  
ル。大衆ニ媚レバベルンシユタインノ如キオポーテユニズム。ル  
コノトコロガ非常ニ六ケシイト云フノデアレ。彼女ハ一九一七年  
ロシア革命ヲ批判シタ時モ正シカッタ。トコロガ独逸革命ノ時ハ問  
違シタ。

暴動ヲ是認スル論據ヲ大衆ノタメデアルト云フ事ニスルナラバ、  
成程之ヲ肯定シ得ル。然ラバ右翼反動ニ反對スル論據ガナクナル。  
若シ大衆ガ革命ヲ要求シアキルト云ヘバワイマール憲法ノ第一回選  
舉ノ結果カラ見テ間違ツテキレ事ガ立證サレル。大衆ハ要求スベカ  
リシデアツタト云ヘバ云ヘルカモ知レヌ。併シマルキシズムハ *Kollent*  
ニ對シテハ何事モ云ヘナイ吾デハナイカ。ローザノ主義。即チマル  
キシズムハ——アノ時ニハ未ダ物的基礎ガナカッタ——トセイゼイ  
云ヘルカケデアル。

第三、戦争ト革命ヲ迎ヘルトキ準備ニ缺ゲテキダ。アノ論争ガ片付イテ

キタナラバ之ニ備ヘルニ充分ナ準備ガ出来テキナカッタデアラウ  
候レタ思想家ガキナカッタ事。政治家ガキナカッタ事。時ガ悪カツ  
タ事デアラウ。だが更ニ根本的ニ云ヘバマルキシズムノ根本的哲學  
タル必然論デアラウ。何時末ルカモ知レヌ社會主義ニ對シテ準備ヲ  
シナイト云フ事ハ全クソノ必然論ノ然ラシメルトコロデアラウ。

第十一章 革命ヨリ現在ニ至ル狀勢

- 三ツノ観点カラ見ラレル。
  - 一、S.O.G.ガ如何ニ活躍シタカ。
  - 二、左右ノ間ニ挟マツタ社會民主黨及ビC.P.D.ガ如何ニ活躍シタカ。
  - 三、ヒットラーノナチス黨ガ如何ニ膨脹シテ行ツタカ。
- 一九一七年一月七日レーニン。トロツキーガ革命ヲヤツタ。彼等ハ



革命ノ一時前ニ云ツタ。十二時ニ暴動が起ルトスレバ吾々ハ十一時半ニ共産党ノプログラムヲ掲ゲレバヨイト。  
 一九一九年以後国内ニ飢饉が起リ原料ガ不足シタ。カナル状勢ガ國家ニ絶制ヲ強制セシメタ。之ヲ人ガ *Kriegs-Kommunismus* ト云フ。工場、農場ヲ國家統制ニ移シタ。戰時共産主義ノタメニ土地ハ國家ガ没收シタ。

一九二一年七月新經濟政策ヲトリ稍資本主義ニ復活シタ之ヲ *ニロト* ト云フ。一九二八年一月新々經濟政策ヲトリ稍共産主義的トナリ同時ニ産業強化ノタメ五ヶ年計劃ヲヤツタ。一九一七年一八年ハ内乱鎮定、外國干涉排除ノタメニ費サレタガ一九九年ニ漸ク外ニ目ヲ向ケル餘裕ヲ生ジ第三インターヲ組織シモスコロニ根據ヲ置イテ各國支部ニ指令ヲ下シタ。一九九年三月四日第一回世界大會ヲモスコロデ開イタ。翌年七月第一回大會ガ開カレタ。ソコデヤツタ事ハ共産黨員ニ二十一ヶ條ノ條件ヲ確定シ之ニ該當シナイモノハ資本家ノ犬デアルトシ。凡エル暴露戰術ヲ使ヘト

シタ。トコロガ翌年一九二一年六月第三回大會デ政策ガ代リ *Im dem Massen Einheitsfront* ナルスローガンヲ掲ゲル事ニナツタ。二月三月ノ大會デハ再ビ淨化運動ヲ起シタ。二八年ガ最後デソノ後七年間開カレズ。昨年一九三五年始メテ開カレタ。昨年ハ自由主義者ト提携シテハナラヌト云ヒ出シタ。

人民戦線運動ノ勃興。大戦後現代迄ヲ四期ニ分ツ。

- 一九一八年——一九二〇年 好景氣
- 一九二一年——一九二三年 不景氣
- 一九二三年——一九二八年 好景氣
- 一九二九年——又

コミンテルンガ世界ニ呼ビカケテ一番効果的デアツタ時ハ一九二一年——二三年ノ不景氣ノトキデアル。二九年ニ再ビ不景氣トナツタトキコミンテルンハ世界ニ呼ビカケル事ヲ急ツテキタ。尙コノ時代中間國家ニ於テハ非常ナ反動が起ツタ。



一九二二年 ムツソリニノ革命

一九三一年 萬州事件

一九三三年 ヒットラーノ革命

ス、ソノハ首領ヲ失ツタガ徐々ニ陣容ヲ整ヘ一九二一年三月コミンテル  
ンノ指令デザクセンデ暴動ヲ起シタ・トコロガ首領 Paul Kautsky ハコノ  
コミンテルンノ指令ニ断手トシテ反對シタ・コノ暴動ハ結局失敗シタ・  
彼等ハ党カラ除名サレタ・トコロガソレカラ三月夕ツタ時ニコミンテル  
ンハ Kautsky ノ主張シタ事ヲ決議シテキルト云フ矛盾ヲ犯シテナル・

二三年一月ホアンカレীগ兵ヲラインランドニ入レタ・コノ時首領

*Pravda* Thal Reimer が暴動ヲ起ス事ヲ主張シタガコミンテル  
ンノ幹部ハ反對シタ・ソコデ時期ヲ失シ又失敗シタ・

何故起スベカラザル時命令シ、起スベキ時ニ止メロト云フノカ・

第一 ロシヤ人ハ西歐ノ事情ヲ全ク知ラナイ・若シロンドンニ第三イン  
ターノ本部ガアルナラバ全世界ノ事情ガ分ルデアラウガ・彼等ハ殆

ンド世界ヲ良ク知ツテキナイ・

第二 第三國家ニ大敵ガアル事・封建的勢力ノ強大ナルモノガ大敵トシ  
テ暗ノ中ニカクレテキル事ガ分ラナイノデアル・日茶々々ニ同志ヲ  
メ、イアキル間ニ大敵ハ徐々ニクロースアツアサレテ来タ・反對党  
ヲヤソツケレバ彼等ハ共産黨員トナルト彼等ハ考ヘテキヤガ独逸ニ  
ハ自由主義的の信念ガ相當極カツタノデアル・ソレヲ見クビツタト云  
フ事が錯誤デアル・

第三 何故 Kautsky ヲ罷免シテカラミケ月ンカタタ中ニ統一戦線ヲ掲ゲ  
タカ・ソレハ彼等ガミケ月ンヨヤラネバナラナカツタカラデアル・ソ  
コデ独逸ノ共産黨員ハロシヤノ国内ノ都合ノタメニ生キテキルト云  
フ印象ヲ與ヘ段々コミンテルンノ權威ガ落テ来タ・各國共産党ノ  
内部ニコミンテルンニ對スル不信ガ起ツタ・コミンテルン結成以來  
各國ニソノ悪影響ハアツタガオソマキナガラ三三三ニ日本ニ起ツタ  
佐野、鍋山ノ轉向ガコノ日本版デアル・



独逸共産党トコミンテルントノ結合ガユルンデ来々事ハ上述ノ如クダ  
アルガ共産主義者ガソレバ盡キルトハ考ヘラレヌ。ソノ理由ハコンミユ  
ニストナル人ノカラゴリーハ

(1) 藝術家的氣持ヲ持ツタモノ *Künstlerisch* ナ人。カナル人ハ物事ヲ  
一面的ニ見、*entweder oder* ヲホメル。破壊、焦燥ヲホメル人デ  
アル。*wissenschaftlich* = 對スル。

(2) 青年。二十歳前後ノ青年。

(3) 失業者。変革ハ彼等ニ有利デアラウトモ不利デハナイ。以上ノ  
カラゴリーニ入ル人ノ数ハ盡キナイカラ共産主義者モ亦盡キナイ。併  
シ以上ノ事ハ又共産主義ヲ無カナランメル理由トモナル。共産党ハ数  
が多クテモ頗ニ於テカガナイ事ニナル(失業者)。藝術家的氣持ハ党  
内ニ内訌ト鬭争ヲ絶ヤサナイ。更ニ青年ノ心理ハ成長ト共ニナクナル  
カラ絶エズ新陳代謝ヲ起ス。共産党ヲ *Leugnungspartei* タラシ  
メル。

以上ノ理由カラ共産党ノ種ハ盡キナイガ、ソレト共ニソレヲ無カナラ  
シメル。故ニ永久ニ批判者トシテ小サイ存在ヲ續ケヨウガ強大ナル統一  
的ナ存在トハナラナイデアラウ。

ドイツ共産党ガ革命後演ジタ役割ハ

(1) 分裂ヲ未シア第ニ者ヲシテ来セシメタ。

(2) 議會制度ヲ不信ニ陥レ暴力革命ノ理論ヲ強調スル事ニ依ツテ自ラノ  
墓穴ヲ掘ルノ愚ヲ演ジタ。

コノ原因ハ形勢ノ劇定ヲ誤ツタ事、議會主義ヲ味方トセズシテ敵ニマ  
ハンタ事デアアル。

右翼政党ニツイテ。

フイマルル憲法ニ依リ自由主義革命ガ法律的ニ承認サレタ。議會萬能  
主義ノ國家が出来タ。コノ事ハ封建主義者ニトツテハ大打撃デアリ。特  
権ハ剝奪サレタ。彼等ハ革命デ一時退却シタガプロレタリアノ内訌ヲ見  
タ時逆襲ニカ、ツタ。彼等ノ希望ハフイマルル憲法ノ改正デアツタ。又



資本家階級ハツインマール憲法ニ賛成デハアル。手段トシテノ政治的自  
由主義ニハ反對シナイガ、ソレヲ利用シテナサレル事ニハ反對スレ。ソ  
コデ彼等ハ一時退却シタガ、封建勢力ト告ンデ一歩一歩失ハレタ推力ヲ  
取りモドサント動キ始メタ。

一九一九年五月バイエルンノ革命崩壊以来コトハ反動運動ノ策源地ト  
ナツタ。

一九二〇年三月 Kapp Putsch 起ル。十二日ニ之等ノ右  
翼的勢力ガ Berlin に入ツタ。ソコデ政府ハドレスデンニ逃ゲタ。Ber-  
lin ハ一時反動派ニ占メラレ政權ツトラレタ。一三日ニ左翼ハ一時内訌  
ヲ止メ労働者ハ同盟罷業ヲヤリ反動政府ハ倒レタ。一九二一年六月六  
日 U.S.D.D.ノ首領 Jureks が反動派ニ殺サレタ。八月ニ二日ニ Engel-  
gen (自由主義者)モ反動派ニ殺サレタ。一九二二年六月ニ四日外務大  
臣 Paffenau モ殺サレタ。カクシア續々反動派ニ殺サレタ。反動派ハ  
次第ニユリカハシテ来タ。自由主義者 共産党、U.S.D.D.ハ依然争ツテ中

タ。

社会民主党ニツイテ。

大戦後彼等ハ苦境ニ陥ツタ。

(1) 彼等ハ自由主義革命ヲヤリ遂ゲタガ、ソノ革命ノ性向上社会主義革  
命マデニ行カナイ事デ左翼カラ攻撃サレ。又自由主義革命ヲヤツタ事  
デ右翼カラ攻撃サレタ。

(2) 野党トナルカ、又ハ聯合内閣ヲ作ルカノ外ナクナツタガ後者ヲ選ン  
タ。併シソノタメニハ當然自由主義者ト結バナケレバナラナカツタ。  
彼等ハ資本主義カ社会カニ徹底シナカツタ。

(3) 恐慌ノ独逸下デ自由ニ手腕ヲ振ヒ得ナイ状勢ニ置カレタ。之等ニ對  
シテ共産党ガ鋭ク攻撃シ、ソノタメ次第ニ社会民主党ハ右傾シテ行ツ  
タ。

一九二〇年一月一日ヨロハ大會ヲ Kassel で開催イタ。コ、デエ  
アフルト綱領ヲ書イテカラ修正主義ノ足認、歐洲大戦、独逸革命ガ起リ



吾マノ地位ハ衰ツタカラ綱領ノ改正ヲシナケレバナラナイトシ八ノ委員ヲ改正ノタメニ選ンダ。Bernsteinガコノ中ニ入ツテキル。一九二一年九月ニハ日 *görlitz* デ大會ヲ開キ委員ノ起草ンタ綱領ガ可決トレテ主トシテ起草委員ハ *F. Stampfer* デアル。「社會民主黨ハ文化政策「アル」トノ文句アリ。之ニ依リイデオロギーガ現實主義的トナツテキル事ガ分ル。

・ U.S.P.D. ニツイテ

中間的存在タル U.S.P.D. ハ西翼ノ勢力ニ依リ次第ニ動キツ、ニ三年頃ニナルトソノ方ニ歩ミヲ近ツケテ来タ。併シソノ中克ニ對立ヲ生ジタ。S.P.D. ニ近イ方ハ *Siedeborn*。S.P.D. ニ近イノハ *Naase* デアツタ。早晚何レカニ片付ク運命デアツタ。一九二〇年一月一日——一七日全黨ヲ擧ゲテス.P.D. ニ合同スル提議ガアツタ。共產黨ノ勢力盛タツタ頃コミンテルンハジノヴイエフヲ派シテ共產黨ニ合流センメントシタ。併シ意見一致セズ、合同論一五六。反對論ニ三六デ合同論者ハ敗北シタ。

コノ年一二月合同論者ハ脱退シテス.P.D. ト合同シタ。残ツタ *Naase*、*Wilferding* 等ハ合同促進ヲナシタ。*Kautsky* ハ民主黨ノ合同ヲサセヨウトシ自分デーツノ *Programm* ヲ書イタ。之モ合同促進ヲス、メタ。ラテナフガ暗殺サレタトキ合同シナケレバ駄目タト自覺サセ、一九二二年七月一日 *Arbeitsgemeinschaft* ヲ組織シ、兩派ハ統一ヲ失ハナイガ共同シテ行動スル事トナツタ。

一九二二年九月四日合同ノタメニハ先ツ綱領ヲ作ル事が必要トシテ兩方カラ三名宛 *Programm* 委員ヲ選ンタ。遂ニ一九二五年九月一日日ハインベルヒ綱領ガ出来上ツタ。之ガ兩方デ一致シテ作ツタ綱領デアルソノ前ニ合同ノ氣運熟シ、一九二二年九月一日日 *Nürnberg* 大會デ遂ニ合同ガ成立シタ。ソノ時ノ勢力ハ共產黨員一五〇萬。總投票一〇〇〇萬(全投票ノ約四〇%)。代議士數一七〇名(約四〇%)デアツタ。ハイデルブルグ綱領ハゲルリツツ綱領ヨリ稍左翼的ニ返ツテキル。カクシテ U.S.P.D. ハ遂ニ S.P.D. ニ合同シ、社會民主黨ニナツタ。 *Kau-*



トク、Bernstein ハ再ビ一踏ニナツタ。一九二四年彼等ハハナレテ  
第一インターナショナルヲ創設セラレ、ソレガマルクストバクニ  
Internationalニツイテ。

第一インターハMarxニ依リ創設セラレ、ソレガマルクストバクニ  
レトノ内訌、殊ニパリコミューンニ関係シタ事デ彈壓サレ、一八七三  
年ニ消エタ。トコロガ再ビ一八八九年第二インター成立。之ガ一九一四  
年大戦ト共ニ崩壊、戦終ツテ一九一七年二月再建ノ決議ガナサレ、一九  
二〇年七月ジュネーブデ成立シタ。ソレガ後知ンテキル、所ガ一九一  
九年三月四日ニコミンテルン(第三インター)生ジ、之ニS.P.D.ガ入ツタ。  
所ガ一九二一年二月Wienデ第二インター生ジ、之ニS.P.D.ガ入ツタ。  
一九二二年Berlinデ第三インターナショナルノ會合ガ行ハレタ。之  
ハ統一戦線ヲ唱ヘテキタS.P.D.ノ要求デアル。ソレニ同情ヲ以テ第二イ  
ンターガ合同ヲ援助スルタメニ行ハレタ。併シ統一ノタメニ黨員ヲ増サ  
ントスルS.P.D.ノ意圖ニ依ル。第二インターハソレカラ回避セントンテ

キタ。コノトキ第二インターヲ代表シテ第三インターニ鋭ク對立シタノ  
ハ英國労働党ノR. MacDonald。第三インターノ代表ハKarl Radeck  
デアツタ。一九二三年ハンブルグデ第二二期ノインター、即チSo-  
zialistische Arbeiter Internationaleガ合同シタ。之ハS.P.D.  
トU.S.P.D.ノ合同ニ照應スル。右翼ガ抬頭シ始メ、左翼ハ右翼ヲ結果ニ  
於テ抬頭サセツ、凋落シ始メタ。

Adolf Hitler ハ大戦カラ歸リ大戦ノ敗北ヲ無念ナリトスル國民主  
義的憤激ヲ見、Marx主義者ガ吾々ノ背後ヲ衝イタタメニ敗戦シタト云フ  
見解ヲ持チマルキンズムニ對立シタ。併シ彼ハ反資本主義デアルコトダ  
ケハ主張シタ。ソノ權ヒ手ヲ彼ハ中産階級ニ求メタ。

彼ハ戦後シオンハンニ歸ツテキタガ一九一九年シオンハンデLeuts-  
che Arbeiter Parteiト云フ小党ニ入ツタ。黨員僅カニ七名。之ガ今  
日ノヒントラー党デアル。翌年ニカケテ党名ヲNationale Sozialis-  
tische Arbeiter Parteiト改メタ。



一九二〇年二月四日 *München* 大會ヲ開キ綱領ヲ決定シタ。ナチ  
ス党ノニ五條ノ綱領デアアル。ソノ後一九三〇年三月六日農業綱領一三條  
ヲ加ヘタ。コノニツガナチスノ綱領ヲナス。ソレ以未ナチスハ滿洲  
カ十四年間ニ總選挙投票數一七〇〇萬トナツタ。一九三三年三月ノ總選  
挙デ一七二六萬五千八百ノ投票ヲ得。二八八名ノ代議士ヲ得タ。併シ未  
ク過半数ニハナラナイ。ソコデ立憲党 人民党ト一結ニナツテ過半数ヲ  
得。前ニ党ヲツヅシテ一党ガケ残ツタ。

一九三四年 *Wunderburg* 死後總理大臣ト共ニ大統領ヲモ設ケタガ、  
全投票ノ中三八二七萬九千五百票ガ被ニ集ツタ。軍司令官 總理大臣  
大統領ノミツヲ兼ネタ。コ、マデ合法ノ形ヲトツテ独裁權ヲ得タ点ガム  
ツソリニト異ナル。

ソコデ社會民主党ハ遂ニ消滅シタ。ビスマルクノ彈壓ニサヘ下レ程強  
カツタ社會民主党ガ何故カクモモロク倒レタカ。 *Kautsky* ハコノ原因  
ヲ一ニ共產党ノ責任ナリトシテチルガ。ソレノミデハナイ。社會民主党  
ガ修正主義ノ結末ヲ早クツケテ中ナカツタ事。之ハ *Kautsky* 自身モ負  
ハネバナラヌ責任デアアル。

### 第十三章 結論

独逸ハ十九世紀ノ始めニ如何ニ複雑ナ社會構成ヲモツテ中タカ。自由  
主義ガ未カ延ビ得ヌ。封建主義ガハビコリ。而モ自由主義ハソノ背後ニ  
プロレタリアノ抬頭ヲモタネバナラナカツタ。  
マルクス、ラッサールガ独逸社會民主党史ヲ織リナスニツノ糸デアアル。  
ゴータ綱領——エルフルト綱領——修正主義論争——大戦——独逸革命  
——消滅。

#### 總括的批判

独逸ト日本トハ事情ガ非常ニ似テキル。独逸ノ歴史ハ日本人ニトツ



テハ他山ノ石トナルコトが多い。以下六ツノ点ニツキ独逸社会民主党論ノ教ヘル教訓ヲ探求シヨウ。

(一) 階級ノ構成ガ非常ニ複雑ナル事。強大ナル封建的勢力ガ残存スル事。ブルジョアトプロレタリアノ對抗ノ如ク單純デハアリ得ナイ。自由主義革命以前ノ封建勢力ノ残滓ガ注意サルベキ事。

(二) 強國ナ自由主義政党ガナイ。所謂市民革命ニ自由主義革命ガ完成シテキナカツタ。自由主義革命ハ社会進化ノタメニハ通過サレネバナラヌモノデアアル。

(三) 社会民主主義政党ガ社会主義ヲモ背負ハネバナラヌ事トナツタ。英國デハ自由党ガ之ヲ果シ労働党ガ之ヲ擔フ。

(四) カクノ如キ政党ハ常ニニツノ危険ニ曝サレテキル。リベリズムニ重点ヲ置ケバ暴動一揆ガ起ラネバナラヌ。カクテ社会党ハ分裂シテ漁夫ノ利ヲ他ニ得サセルト云フ結果ニナル。

(五) カノル中間國家ニ必要ナ事ハ自由主義ノ真相ヲ把握シテソノトルベキ部分ト採ラレベキ部分トニ分解シテ残スベキ社会主義ト自由主義ト

ヲ有機的ニ統一スル社会思想ヲ構成スル事デナケレバナラナイ。

(六) リベリズムムトソニアリズムノ有機的聯繫ハ同一ノ哲学ノ上ニ載セラルコトニ依ツテノミ完成シ得ル譯デアアル。然ラバ西者ヲ共同ニ基礎ツケル哲学ハ何カト云ハバソレハイデアリズムデナケレバナラナイ。

要之、独逸社会民主党ノ歴史ハ中間國家ノ社会党ノ今後進ムベキ道ヲ指示シテキルデアアル。



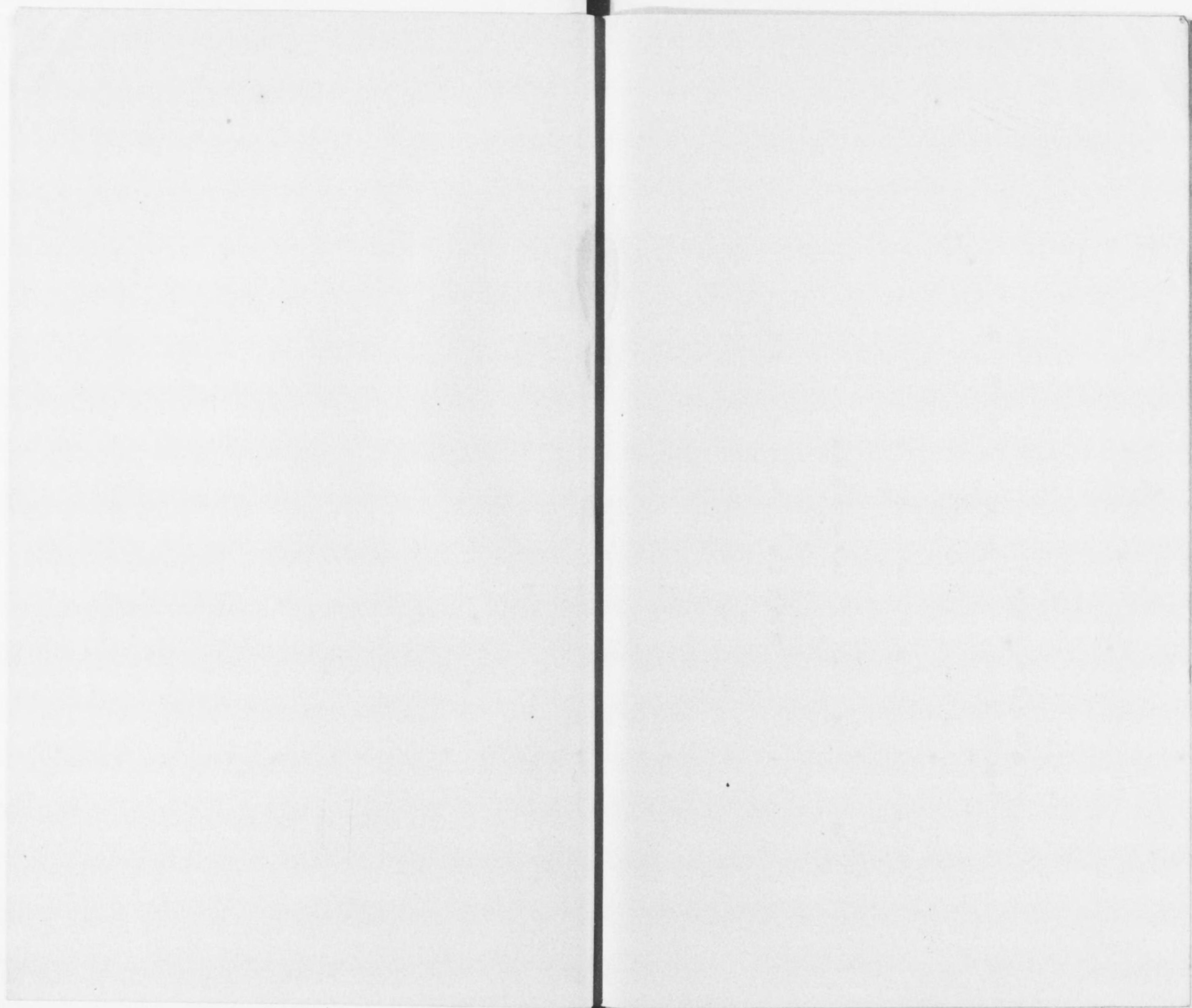
昭和十一年 月 日印刷發行

編輯發行責任者 金 森 萱

印刷所 東京プリント刊行會印刷部

發行所 東京プリント刊行會  
東京市本郷区赤門前







342  
1029



( ¥ 0.50 )

終